

# ホコリ飛散防止シート

- 1 スライドパネルより 更に早く簡易に組立・解体が可能です。(大幅な工期短縮可能!)
- 2 突っ張りにてランナーを上部に固定するのでビス等のダメ穴補修が不要です。
- 3 専用フック<売切品>と現場の白シートなどを用いて簡易の目隠し対応も可能です。
- 4 シートは難燃製品で毒性審査済み。補強用の糸が十字方向に入っており強化されております。
- 5 突っ張り棒の高さは1600~2900mm・1950~4900mmまで対応可能。  
(ネジ調整にて3000mm・5000mmまでの高さに対応可能)
- 6 シートの両端にマジックテープを施しており容易に隣り合わせのシートとの目地養生が出来ます。
- 7 上部ランナー部と天井設置面にはスポンジシートを貼っており天井面をスリ傷などから守ります。



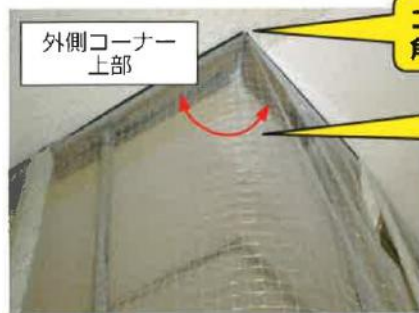
固定方法が突っ張り式なので  
ダメ穴を残しません。  
ランナーと天井接地面に  
スポンジ養生付

コーナー専用材にて角の仕舞  
いがより綺麗です。

シート・突っ張り棒共に再利用  
が可能。  
容易に転用できます。

シートの合わせ目をマジックテ  
ープ固定するので囲い内への  
出入りが容易です。

リ  
ニ  
ュ  
ー  
ア  
ル  
系



外側コーナー  
上部

コーナー専用材を使えば  
角の仕舞いが更に綺麗。

90~270度まで使用可能。  
(入隅も270度までは対応可)

内側より棒とランナーの  
取り付け状況  
ランナー内の任意の位置  
を突っ張れます。



内側から上部

	品名	シート (ランナー) 巾×高さ 単位:mm	単重量 単位:kg	突っ張り棒使用本数
3m高さ用	HBS-1830	1800巾×3500高さ	8.0	2本
	HBS-1830 <チャック付>	1800巾×3500高さ (チャック出入口付)	8.0	2本
	HBS-0930	900巾×3500高さ	4.0	2本
	HBS-4530	450巾×3500高さ	2.0	1本
	HBS-C-30 <コーナー用>	900巾 (450+450を蝶番固定) ×3500高さ	4.0	2本
	2.9棒	1600~3000高さ調整可能 (当てゴム寸: 60×85)	2.5	
5m高さ用	HBS-1850	1800巾×5100高さ	9.5	2本
	HBS-1850 <チャック付>	1800巾×5100高さ (チャック出入口付)	9.5	2本
	HBS-0950	900巾×5100高さ	4.8	2本
	HBS-4550	450巾×5100高さ	2.4	1本
	HBS-C-50 <コーナー用>	900巾 (450+450を蝶番固定) ×5100高さ	4.8	2本
	4.9棒	1950~5000高さ調整可能 (当てゴム寸: 60径)	2.0	

※棒のみのレンタルも対応致します。

# ホコリ飛散防止シート 取扱いマニュアル

1. 安全ロックピンを右（ロック状態）にし、縮めた状態でランナーに差し込んで下さい。

2. 二人で上向きにしてロックを解除し天井までぴったりくっつけて下さい。

レバーを押さえながら上ポールを上上げる。

3. ぴったりくっついたら、下ポールを右に回して更にタイトにして下さい。

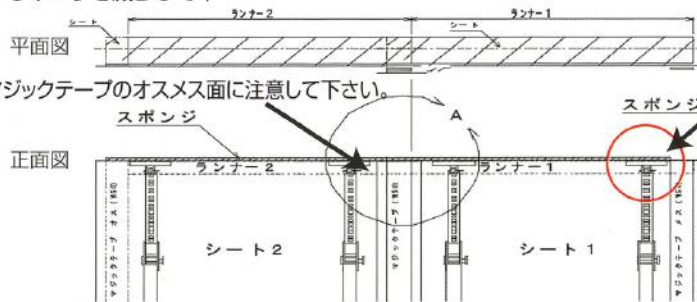
4. 最後に安全ロックピンを右に動かしロック完了。

（解体する時は、この逆の作業）

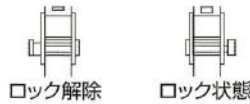
5. マジックテープでホコリ飛散防止シート同士を隙間が出来ない様に貼り合わせて下さい。

6. 大量のホコリが出る場合は、排気用のブロワー、集塵ダクトを使用して浮遊するホコリを減らして下さい。

隣り合わせのシート端部にあるマジックテープのオスメス面に注意して下さい。



2.9棒（3m高さ対応型用）の突張り方法



リニューアル系

単体最大幅（1.8m）×H3m＝5.4m<sup>2</sup>のシート間仕切りを約1分半<二人工>で施工可能！  
※下から突っ張り棒にてランナーを押し上げるので脚立作業が不要です！



①シートをのぼす

②棒をランナーにかける

③棒をジャッキアップ

④棒を突っ張って固定して完成！